



**構造化データは良いが、
非構造化データが扱えない**



**ビッグデータソリューションは多くあるが、
人がデータを解釈するのと同じレベルで扱いきれていない**



**ビジネスの現場で使いたいように
各種データを自由に使えていない**

ソーシャル メディアデータ



ソーシャルメディアにおいて参加者が書き込むもの

マルチメディア データ



WEB上の配信サイト等で提供される音声や動画

ウェブサイト データ



ECサイトやブログ等で蓄積される購入履歴やブログエントリー等

カスタマー データ



CRMシステムで管理されるDM等販促データや会員カードデータ等

ビッグデータ



センサーデータ



GPS・ICカード・RFID等において検知される、乗車履歴、温度、加速度等

オフィス データ



オフィスのPCで作成されるオフィス文書やEメール



ログデータ

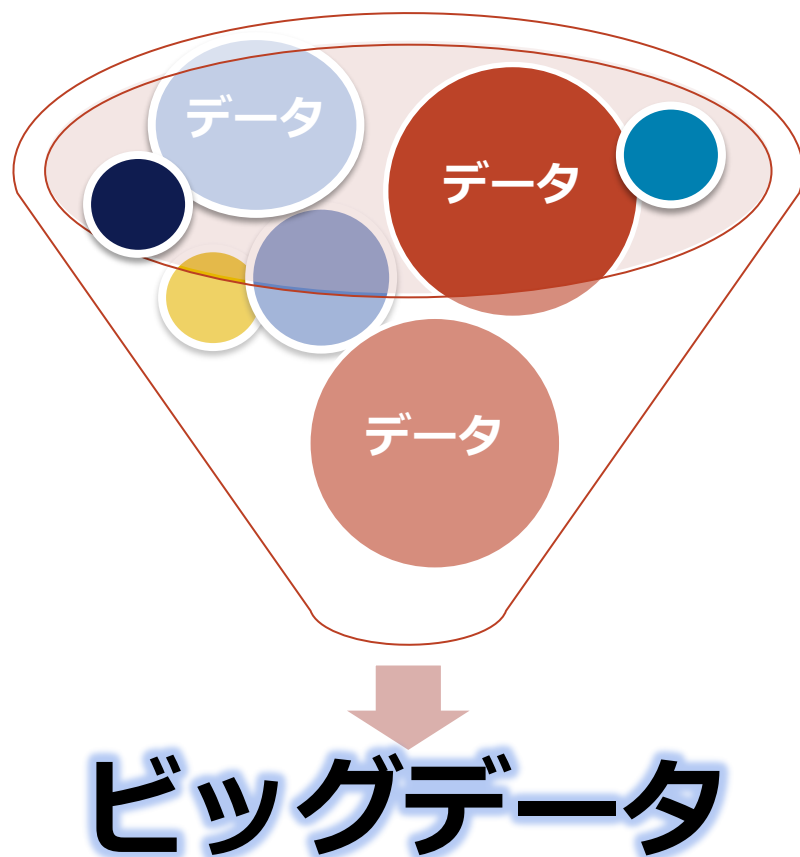
WEBサーバにおいて自動生成されるアクセスログ、エラーログ等

オペレーション データ



販売管理等業務システムにおいて生成されるPOSデータや取引データ等

出所：総務省公開資料を元に弊社作成



ビジネス面

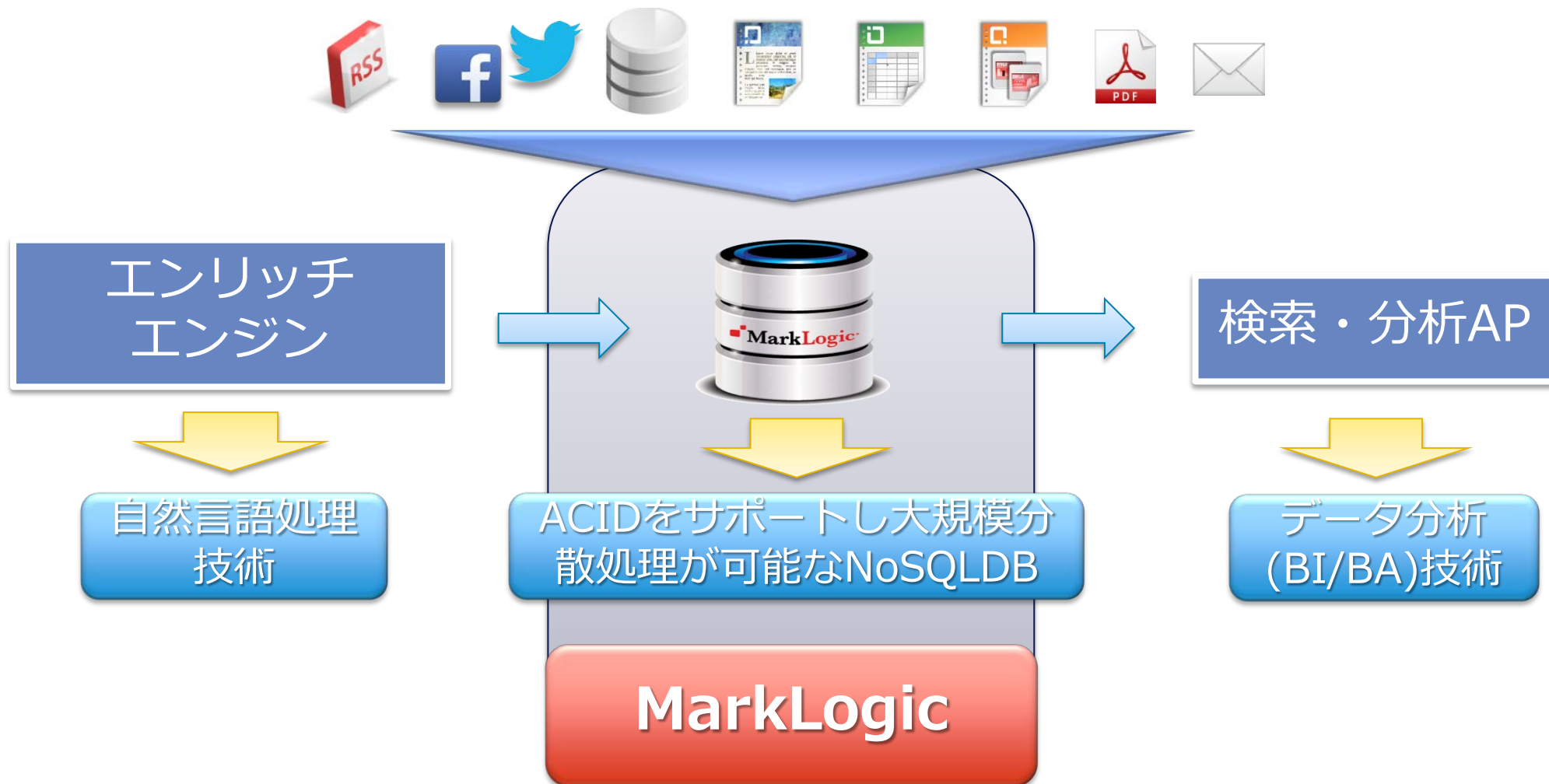
多量のみならず、むしろ多様なデータをまとめて扱うことで意味が出ることが多いのではないか

ハードルが高く、
なかなか実現しなかった

技術面

多様なデータを扱うにあたり、データベースの制約や、データ自体を取扱う周辺技術が未整備

「非構造化データ活用基盤」として、従来のRDBが管理する定型化されたデータに加え、「**当初には想定されていないデータ構造**」や「**データ構造の変更**」、「**テキスト文書などの非定型データ**」をリアルタイムに管理し、データの意味を踏まえた検索やデータ間の複雑な関連を管理することができる、柔軟で拡張性に優れたデータ管理基盤のコア要素としてのMarkLogic Serverの活用を行います。



インターネット上のECサイトや掲示板等、審査先に関するあらゆる情報を意味解釈・タグ付けを行い、多様なデータを活用可能な状態でMarkLogic Serverに格納し、お客様審査業務の高度化を図る。

インターネット情報

